

平成23年度当初予算（一般会計）における主要事業の概要

第五次猪名川町総合計画の基本構想・前期基本計画に基づいて実施する施策及び事業のうち、平成23年度の主な事業概要は、次のとおりです。

笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川 ～地域・生活～

【拡充】 防災対策事業	2, 422万7千円
【拡充】 消防施設整備事業	1, 066万1千円

こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川 ～環境・景観～

【新規】 火葬場周辺整備事業	480万円
【新規】 希少生物等調査保全事業	181万5千円
【新規】 公園緑地整備事業	2, 488万7千円

いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川 ～健康・福祉～

【新規】 猪名川町高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画策定	254万9千円
【新規】 第3期猪名川町障害福祉計画策定	100万円
【新規】 すこやか体力検定事業	47万5千円
【拡充】 重度心身障害者（児）医療費助成事業	2, 830万5千円
【拡充】 子ども手当等給付事業	8億851万円
【拡充】 私立保育所の運営負担と認可外保育所助成事業等	1億4, 343万7千円
【拡充】 健康診査・検診事業等	9, 504万6千円
【拡充】 感染症対策事業	1億1, 026万5千円





こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川 ～教育・文化～

【新規】図書館蔵書予約システムの導入	21万6千円
【新規】屋内温水プール整備事業	500万円
【新規】学校給食センター整備事業	2,016万9千円
【拡充】情報教育の充実（小・中学校）	4,940万5千円
【拡充】中学校備品整備事業	337万3千円

活力とにぎわいのあるまち 猪名川 ～都市・産業・観光～

【新規】里山再生整備事業	956万2千円
【新規】河川維持管理事業	336万6千円
【新規】都市計画道路原広根線新設改良事業	2,020万円
【拡充】産地形成振興対策事業	1,086万1千円
【拡充】農地・水・環境保全向上対策事業	153万円
【拡充】特別指定区域制度の活用	468万1千円

人びとと行政がともに歩むまち 猪名川 ～行政運営～

【新規】清流猪名川ふるさと応援寄附金記念品	5万円
-----------------------	-----

平成23年度から組織改編のため、担当部課名が変わります。次ページからは平成23年度からの新しい部課名を記載しています。



笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川

～地域・生活～

まちづくりの主役である住民の活動基盤を整備するとともに、参画と協働を一層進め、安全・安心をキーワードに、犯罪が起きにくく災害に強いまちづくりに取り組みます。

人権を尊重し、すべての人がともにささえあう共生のまちづくりを推進し、人々の笑顔があふれ、豊かで快適な生活を実現するまちづくりをめざします。

交通安全対策事業（継続）

575万9千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

交通事故撲滅に向け、川西警察署や川西交通安全協会、町交通安全推進協議会の協力のもと、街頭啓発の実施や幼児・児童の交通安全教室の開催及び高齢者ドライバーを対象としたシルバー安全運転講習会を開催するなどの意識啓発を図り「交通安全宣言の町」としてふさわしい取り組みを推進します。

防災対策事業（拡充）

2,422万7千円

【担当：総務部 総務課】

防災訓練については、地域住民の方々がより多く参加・体験できるよう、小学校区単位の体験重視型訓練の実施を引き続き支援し、全小・中学校に設置している防災倉庫の備蓄品を有効活用するため、保存期限の迫ったものから順次、防災訓練時の啓発物品として配布し、更新します。

また、防災関係各種システムについては、気象情報システムを、観測機器の更新に併せて、設置箇所の見直し等を行い、広報板に設置している避難所表示板についても、よりわかりやすい表示とすることとし、さらに災害時等の緊急時の職員等の情報伝達をより迅速・確実に実施するため、電子メールの一斉配信システムを導入します。

防犯対策事業（継続）

2,490万7千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、設置した防犯灯の適正な維持管理に努めます。

また、昨今の犯罪は、より悪質化・巧妙化・低年齢化の傾向にあるため、生活安全アドバイザーをパイプ役として防犯委員及び自主防犯グループと連携を図りながら犯罪の未然防止に努め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを推進します。

国際交流事業（継続）**298万4千円****【担当：地域振興部 参画協働課】**

姉妹都市バララット市との交流を深め、多面的分野にわたる国際交流を推進するとともに、地域の外国人住民が安心して暮らせる多文化共生のまちづくりに努めます。

また、住民主体で実施される多文化間の相互理解と国際親善を推進する町国際交流協会の活動について補助金を交付します。

コミュニティ推進事業（継続）**1,510万4千円****【担当：地域振興部 参画協働課】**

7小学校区に設置された“まちづくり協議会”を中心に、地域の特色、特性を活かした住民の参画と協働による安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティの推進を図るため、その活動に対して補助金を交付します。

消費者対策事業（継続）**548万9千円****【担当：地域振興部 参画協働課】**

消費者行政の活性化は喫緊の課題となっていることから、これまで以上に住民に身近で相談しやすい窓口を目指し、複雑化、高度化する消費者トラブルに対応するため、専用の相談室を設置するなど、さらなる相談窓口の充実を図ります。

また、消費者トラブルの未然防止のため、近年多く発生しているトラブル事例などを交えた消費生活講座や出前講座などを一層積極的に開催するとともに、依然として多い多重債務問題に対応するため、弁護士会、司法書士会など関係機関との連携強化に努めます。

救急活動・啓発事業（継続）**556万2千円****【担当：消防本部】**

救命率の向上を図るため、引き続き救急救命士による心肺蘇生法を主とした救命講習を実施するとともに、救急アドバイザーが身近な自治会や子育てグループなどで積極的に出前講座を開催し、わかりやすい救急の知識、応急手当の実施方法などの普及啓発活動を行います。

自主防災組織育成事業（継続）**144万7千円****【担当：消防本部】**

自主防災組織については、引き続き各自主防災組織における訓練の実施を推進するとともに、老朽化が進んでいる消防用ホース格納箱等を支給し、地域の防災力の向上とコミュニティの醸成に努めます。

消防施設整備事業（拡充）

1, 066万1千円

【担当：消防本部】

宝塚市及び川西市との新たな消防通信指令業務の共同運用に取り組むため、宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センターを宝塚市消防本部に開設し、増大する消防・救急需要に対して迅速かつ広域的に対応します。

また、消防団の機動力を強化するため、下阿古谷分団の小型動力ポンプ付積載車1台を更新します。



小型動力ポンプ付積載車

児童生徒安全対策事業（継続）

74万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

全国的に登下校時に子どもが凶悪事件の被害者となる事件が多数発生しているため、各学校では教職員対象の防犯訓練を実施し、学校安全ボランティアの協力による登下校時の安全確保に努めるとともに、小・中学校の児童生徒全員に防犯ブザーを貸与し、小学校で「CAP講習会（子どもへの暴力防止を考える講習会）」を実施して子ども自身の防犯スキルの向上を図ります。

こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川

～環境・景観～

清流猪名川をはじめ、豊かな里山など、自然を身近に感じることができる本町のすばらしい環境の中で、都市との調和を図り、潤いと安らぎが感じられるまちづくりに取り組みます。

自然にふれあい、自然について学び、自然の尊さや自然と共生する心を育み、いつまでも季節の変化を感じられる美しい環境づくりをめざします。

水環境保全整備事業（継続）

80万円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

清流猪名川を取り戻そう町民運動が、自主的な地域の活動として継続的に展開されるように同運動実行委員会に対する活動支援を行います。

また同運動基本計画に基づき、引き続き雨水利用を促進する貯留施設（タンク）設置に対する助成を実施するとともに、清流パトロールの実施、清掃用具の地域・グループへの貸し出しにより河川愛護活動を支援します。

ごみ減量化等対策事業（継続）

1,465万8千円

【担当：生活部 住民保険課】

大型ごみの有料化、再生資源集団回収の奨励、家庭用生ごみ処理機購入助成などの施策を引き続き行うほか、事業系生ごみの堆肥化によるリサイクルや住民参加、出展によるフリーマーケット等の場の提供を行います。

塵芥処理事業（継続）

1億33万9千円

【担当：生活部 住民保険課】

ごみ収集業務については、引き続き適正なごみ処理に向けた分別収集を徹底します。また、ごみ焼却施設については、撤去に向けた諸手続きを開始します。

火葬場周辺整備事業（新規）

480万円

【担当：生活部 住民保険課】

現施設に付帯している駐車場では会葬者の多い日などは飽和状態となることから、新たな駐車場スペースの確保が求められています。このため、現施設隣接地において確保する駐車場用地の測量及び実施設計を行います。

希少生物等調査保全事業（新規）

181万5千円

【担当：まちづくり部 都市環境課】（緊急雇用創出事業で161万1千円を重複計上）

町内に生息する水田生態系のシンボリックな生物であるメダカ等希少生物の生息地を調査し、その保全を進めることを通じて、生息環境及び里山の重要性を学ぶ活動を展開します。

また、メダカの里親制度等を導入することにより、家族ぐるみでの環境保全意識の向上を図ります。

公園緑地の維持管理（継続）

1億216万7千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

生活文化公園都市をめざして整備された総合公園、地区公園、近隣公園等47公園及び65箇所の緑地の維持管理を行い、生活の中にあるおいと安らぎを提供できるように取り組みます。

また、定期的な安全点検により公園遊具による事故を未然に防止するとともに、全公園を対象に行った安全点検結果に基づき撤去した公園遊具の新たな設置については、地域住民によるアドプトなど今後の管理に対する住民の参画もあわせて検討するうえで、順次施設の更新に努めます。

公園緑地整備事業（新規）

2,488万7千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

健康増進・地域住民の交流の場として、うぐいす池公園の一部リニューアルを行うとともに、原川の河川管理道路を延長460m、幅3.5mの桜並木として整備し、日生中央駅からの一体的な周遊ルートを設定することにより、自然の尊さ・学び・ふれあい、自然と共生する心を育み、季節の変化を感じつつ、うらおいと安らぎが感じられるよう整備します。



原川から桜並木を望む

いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川

～健康・福祉～

高齢者や障がいのある人を地域でささえる仕組みづくりなど、安全で快適に暮らせる環境づくりを進めるとともに、町ぐるみで健康づくり活動を促進することで、いつまでも元気でいきいきと暮らせることが実感できる健康長寿のまちづくりに取り組みます。

子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる活力ある地域社会づくりを進め、子どもたちが本町の特色である自然環境を最大限に活かし、健やかに育つ環境づくりをめざします。

シニア世代生きがいつくり事業（継続）

55万6千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

団塊の世代を対象にした事業から、シニア世代に対象拡大を行う中で、同世代の豊富な知識・経験を地域づくりやまちづくりに活かしながら、各地域でアドプト活動への誘導や、遊休農地・里山の活用などにつなげていくため、農業体験講座を通して、新たな後継者の育成に努めます。

また、これまでの社会で培われた経験、知識、技能等に加え、自らの人生観を気軽に幅広い世代に語りかける場として、「わたしたちのまちかど講演会」を実施し、新たな生きがいつくりの創造支援を行います。

猪名川町高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画策定（新規）

254万9千円

【担当：生活部 福祉課】

高齢社会で発生する様々な課題や社会の動向に対応し、高齢者が健康でいきいきと過ごし、安心して暮らし続けられるように高齢者のための総合的な計画という観点から、平成24年度から26年度までの3カ年計画として策定します。

第3期猪名川町障害福祉計画策定（新規）

100万円

【担当：生活部 福祉課】

障害者自立支援法に基づき、平成24年度から26年度までの3カ年計画である第3期猪名川町障害福祉計画の策定を行います。

社会福祉協議会への補助（継続）**7, 673万9千円****【担当：生活部 福祉課】**

総合福祉センターを拠点として、これまで実施してきた高齢者や障がい者に対する一体的、総合的な福祉サービスの提供や、障害者自立支援法に基づく事業所である「希望の家すばる」など、その事業運営主体となる猪名川町社会福祉協議会に対して引き続き助成を行い、本町における地域福祉の推進役として一層の機能強化を図るための支援を行います。

人生80年いきいき住宅助成事業（継続）**500万円****【担当：生活部 福祉課】**

住み慣れた地域で暮らすことを望む高齢者や障がい者が、家庭で安心して健やかに生活が送れることを目的に、引き続き一定要件の住宅改修に伴う費用の一部を助成し、在宅介護の支援に努めます。

人生80年いきいき住宅助成事業の対象

種類	対象者
一般型	・60歳以上の高齢者のいる世帯で特別型の対象とならない人
特別型	・介護保険申請者で、要支援以上の認定を受けた人 ・身体障害者手帳の交付を受けた人 ・療育手帳の交付を受けた人
増改築型	・一般型及び特別型の対象者

敬老祝金（継続）**467万円****【担当：生活部 福祉課】**

77歳（1万円）、88歳（2万円）、100歳以上（3万円）の敬老祝金を引き続き支給し、福祉の増進に努めます。

敬老祝金の推移

(単位：人、千円)

年 度	対象者	支給総額
平成21年度実績	303	3,990
平成22年度見込	296	3,940
平成23年度予算	334	4,670

緊急通報システム運営事業（継続）**188万2千円****【担当：生活部 福祉課】**

一人暮らし高齢者（65歳以上）及び身体障がい者の緊急時の不安解消や安全確保などを目的とする緊急通報システム事業の運営を引き続き行います。

障害者相談支援事業（継続）**1, 920万4千円****【担当：生活部 福祉課】**

障がい者（児）やその保護者、介護者からのあらゆる相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行うことにより、自立した日常生活、社会生活の向上を図ることを目的として相談支援センターを設置しています。また、障害者就労支援センターでは、障がい者の就労に係る相談、援助、実習訓練、啓発等を行うことにより、一人でも多くの障がい者が就労の場や機会を得られるよう努めます。

心身障害者（児）福祉金（継続）**1, 520万5千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者（児）福祉金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り、障がい者福祉の向上に努めます。

重度心身障害者（児）医療費助成事業（拡充）**2, 830万5千円****【担当：生活部 福祉課】**

これまでの重度の障がい者のみを対象とした医療費助成に加え、低所得者で、かつ中度の障がい者（身体障害者手帳3級、療育手帳B1、精神障害者保健福祉手帳2級所持者）を対象に、入院医療費の一部助成を実施します。

心身障害者（児）支援事業（継続）**1億9, 042万円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給を行い、生活介護や就労支援など日中活動系サービスの充実を図り、障がい者の自立と社会参加の向上や生活支援に努めます。

子育て支援対策事業（継続）**1, 451万円****【担当：生活部 福祉課】**

安心して子育てができる安全な環境づくりを目指して、子育て支援センターを核とした相談、情報提供、広場事業等総合的な子育て支援のより一層の充実を図るため、引き続き、子育て支援アドバイザーを配置し、巡回相談を実施するとともに、子育て経験者によるボランティアの育成などを行うほか、地域における子育て支援のネットワーク化や子育てグループの活動に対しても支援や助成を行います。

また、全国で多発している児童虐待防止のため、その啓発活動を実施します。

乳幼児等医療費助成事業（継続）**8, 267万7千円****【担当：生活部 福祉課】**

昨年度から導入している中学校修了までの入院時一部負担金の無料化を含め、引き続き乳幼児等への医療助成を実施します。

子ども手当等給付事業（拡充）**8億851万円****【担当：生活部 福祉課】**

昨年度から実施された子ども手当について、法令に基づき中学校修了までの子どもを対象に、1人につき月額1万3千円を、そのうち、3歳未満児については、1人につき月額2万円を支給します。

私立保育所の運営負担と認可外保育所助成事業等（拡充）**1億4,343万7千円****【担当：生活部 福祉課】**

私立保育所「星児園七夕」や本年度から新たに開設される認定こども園である「YMC Aまつおだい保育園（定員30名）」での保育の実施が円滑に行えるように、運営費の負担と特別保育事業（一時保育、延長保育促進事業、地域子育て支援拠点事業など）に対する補助を行い、子育て支援の一層の推進に努めます。

また、認可保育所待機児童の解消を図る施策として、認可外保育所に入所した場合、認可保育所との保育料差額分の一部助成やその認可外保育所事業運営への補助を引き続き行います。

各保育所の入所児童数							(単位:人)
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
私立保育所 星児園七夕	8 (0)	12 (0)	29 (0)	16 (1)	21 (3)	26 (2)	112 (6)
町立保育所 猪名川保育園	6 (0)	11 (0)	18 (0)	22 (0)	27 (1)	28 (0)	112 (1)
計	14 (0)	23 (0)	47 (0)	38 (1)	48 (4)	54 (2)	224 (7)

* () 内は町外園児数、(平成23年1月現在)

地域健康づくり組織支援事業（継続）**140万3千円****【担当：生活部 住民保険課】**

住民自らが健康づくりに取り組む意欲の増進を図るため、専門家による適切かつ正しい健康づくり情報を研修を通じて伝えることにより健康づくり支援員を引き続き育成し、行政だけでなく同支援員が地域に根ざした実践活動を行うことにより地域ぐるみで健康づくりを進めます。

いながわ健康・医療相談ほっとライン24（継続）**227万8千円****【担当：生活部 住民保険課】**

24時間体制で病気やケガなど医療に関する住民の不安や疑問に、医師・看護師・保健師が電話で答える「健康・医療相談」を専門機関に委託して引き続き実施します。年中無休、相談料・通話料無料で町民であればどなたでも利用できます。

健康診査・検診事業等（拡充）**9, 504万6千円****【担当：生活部 住民保険課】**

平成20年度から医療保険者は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、被保険者及び被扶養者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査を実施し、その結果、健康の保持に努める必要がある者に対して保健指導を行うことが義務づけられました。これにより引き続き特定健診、特定保健指導を実施し、生活習慣病の予防・改善に努めます。

また、特定の年齢層の女性に対して、子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を送付し、受診促進とがんの早期発見、正しい健康意識の普及・啓発に引き続き努めます。

成人歯科検診については、“生涯自分の歯で食べられること”を目的として、30歳から70歳までの5歳刻みで節目の人を対象に医療機関での歯科検診を実施します。

感染症対策事業（拡充）**1億1,026万5千円****【担当：生活部 住民保険課】**

疾病の発生予防により住民の健康増進を図ることを目的に、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種を、国のワクチン接種緊急促進事業を活用し、引き続き実施します。

妊婦健康診査費助成事業（継続）**1,540万円****【担当：生活部 住民保険課】**

妊婦が健診費用を心配せず、定期的に妊婦健診を受けられるように、引き続き助成を行います。

放課後児童対策事業（継続）**3,454万4千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

原則として、小学校低学年に在籍する児童で、保護者の就労などにより昼間家庭で保育を受けられない児童に対して、町内のすべての小学校で留守家庭児童育成室を開設し、児童の健全育成を図ります。放課後から午後6時までの開室を基本に、育成室を利用する保護者の申請により、午後7時までの特別延長も実施します。

利用児童数の推移

年 度	児童数（人）
平成21年度実績	153
平成22年度見込	157
平成23年度予算	165

すこやか体力検定事業（新規）**47万5千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

高齢者を対象とした体力テストを実施することにより、受検者自身の体力・健康度を正確に把握いただき、健康への関心や生涯スポーツへの取り組み誘導と意欲向上を図り、健康と体力の維持増進に対する支援を行います。

こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川

～教育・文化～

住民が生涯を通じて学ぶことのできる環境を整えるとともに、子どもたちが豊かな自然環境や独自の歴史・文化のもとで、思いやりの心や豊かな人間性、自ら考え自ら学ぶ力を育てるまちづくりに取り組みます。

だれもがいつでも、気軽に学ぶことができるよう、情報を提供し、機会や場を設け、人材を育てるなど環境整備を進め、文化・歴史の保存と活用により、「ふるさと猪名川」を次世代へ継承しながら、住民の創意工夫による新たな文化の創造をめざします。

小児生活習慣病予防対策事業（継続）

54万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

小学校4年生と中学校2年生を対象に生活習慣に関するアンケート調査を実施し、学校、家庭、地域、医療機関等と連携しながら早い時期からの効果的な生活習慣病の予防対策が行えるよう努めます。

教育研究所事業（継続）

1,157万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

教育研究所で、教職員の指導力の向上に向けた研修の充実を図るとともに、不登校児童生徒の学校復帰を支援するための適応教室「STEPいながわ」と、いじめ問題への対応や保護者の子育てを支援する教育相談事業の一層の充実を図ります。また、不登校対策や問題を抱える児童生徒の自立を支援する拠点として、学校や関係機関と連携してさらなる機能強化に努めます。

情報教育の充実（小・中学校）（拡充）

4,940万5千円

【担当：教育委員会 学校教育課】（緊急雇用創出事業で195万5千円を重複計上）

わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、授業においてICT（情報コミュニケーション技術）を効果的に活用できるように、小・中学校パソコン教室の情報機器、教師用パソコン及び各学校と教育委員会を結ぶ学校LANの維持・保守を行います。また、新たに校務用ソフトを導入し、事務の省力化を図ることにより教員と子どもたちと向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図ります。

学校支援地域本部事業（継続）**241万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

地域全体で学校教育を支援するため、学校支援ボランティアの人材バンクを整備、活用し学校と地域との連携体制を構築し、専門的な知識・技能を持った人材の参画により、学習支援などの学校支援活動を展開します。

わくわくスクールプラン推進事業（継続）**318万3千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

「確かな学力の向上」「心の教育の充実」及び「たくましい体づくり」を目指して、中学校区ごとに就学前教育から中学校までの子どもたちや教職員の交流・連携を一層促進し、カリキュラムの編成や指導方法の工夫改善に関する研究を中心とした強固な連携と緩やかな一貫性のある教育を推進します。

特別支援教育の推進（継続）**1,294万3千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

通常の学級に在籍する発達障がい児も含めて、障がいのある幼児、児童、生徒への適切な教育的支援を行うため、教育相談や幼稚園、小・中学校への巡回相談を実施します。ADHD（注意欠陥多動性障害）等により行動面で課題のある児童・生徒が在籍する小・中学校の通常学級にスクールアシスタントを配置するとともに、兵庫教育大学大学院生による学校支援を行い、学校園における特別支援教育の質の向上を図ります。また、フォーラムを開催するなどして、地域住民の特別支援教育への理解啓発を進めます。

学習到達度調査事業（継続）**77万8千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

町内の中学2年生と小学5年生を対象に学習到達度及び生活意識調査を実施し、分析結果をもとに学習及び生活指導上の課題を明確にすることにより、指導方法の工夫改善を図り生徒の学力の向上に努めます。

学校図書館への学校図書館司書配置事業（継続）**1,249万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

小・中学校で図書館教育の専門的な取り組みを推進するため、県の配置対象とならない12学級未満の学校についても町単独で学校図書館司書を配置することにより、読書指導の充実に加え、各教科等における図書館資料の活用を通して、自ら学び自ら考える学習を支援する学校図書館としての機能充実に努めます。

中学校備品整備事業（拡充）**337万3千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

老朽化した生徒用机・椅子を計画的に更新し、学習環境の改善を図ります。

学校施設整備事業（小・中学校）（継続）**4,820万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

児童・生徒の学習環境の充実と改善、安全な施設管理を図るため、学校営繕工事を継続的に実施します。

私立幼稚園就園奨励事業（継続）**2,984万4千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

就学前幼児の幼稚園教育の振興を図るため、3歳児から5歳児までの私立幼稚園に通園する園児を対象に助成します。

助成園児数の推移

年 度	園 児 数 (人)		
	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
平成21年度実績	118	144	140
平成22年度見込	109	153	144
平成23年度見込	110	140	153

青少年健全育成事業（継続）**【担当：教育委員会 生涯学習課】****759万円**

青少年健全育成推進会議を中心に、青少年関係団体間で情報交換を行なうなどネットワーク化を図り、青少年健全育成を推進します。

文化財保護の推進（継続）**1,105万4千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

貴重な文化遺産を保護し次代へ継承していくため、遺跡等の調査を進めます。また、猪名川町の歴史を語る上で、欠かすことのできない産業遺産である銀山地区について、更なる調査を進め、随時、調査等の結果を公表し、住民の郷土に対する認識を深められるよう努めます。

猪名川町生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」（継続）**90万円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

一人ひとりが自己の充実を目指し、自発的に学習しようという意欲のある人や、自分に適した学習の方法や学習の機会を必要とされている人を支援するため、「リバグレス猪名川」を開講します。

文化体育館施設整備事業（継続）**1億2,940万9千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

平成3年の開館以来20年が経過し、経年による施設の老朽化に伴い、大ホール照明設備、小ホール音響設備、小ホール照明設備、受変電設備等の改修を行います。

図書館蔵書予約システムの導入（新規）**21万6千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

既に実施しているインターネットによる蔵書検索に加え、町内在住の方が利用できる貸出中の図書の予約システムを導入し、町内利用者の利便性の向上を図ります。

学校施設開放事業（継続）**454万8千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

休日等における小・中学校のグラウンドや体育館を開放し、地域スポーツ活動への利活用を図ります。また夏休みの一定期間中、小学校のプールを開放し、学校や家庭と地域、住民相互のコミュニケーションの醸成の場として利活用を図ります。

屋内温水プール整備事業（新規）**500万円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

平成13年の開館以来9年が経過し、経年による老朽化が進行していることから、屋内温水プールの改修を進めるため、実施設計を行います。

学校給食センター整備事業（新規）**2,016万9千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

学校給食センター施設について建築（昭和56年）後30年、増築（平成3年）後も20年が経過しており、老朽化が著しく進んでいることから、より良い学校給食を目指すための施設整備が急務となっています。これらのことを踏まえて、学校給食センターの整備に向け、実施設計等を行うとともに今後のより良い学校給食のあり方を検討していきます。

活力とにぎわいのあるまち 猪名川

～都市・産業・観光～

暮らしと経済をささえる都市基盤の充実と多様な産業の発展を推進し、活力とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

地域資源を活かした産業振興を図るため、農林業・商業・観光産業などの有機的な連携により「いながわブランド」の創出をめざすとともに、それらを町内外へ発信することにより、暮らす人、訪れる人にとって魅力あるまちづくりをめざします。

公共交通の充実（公共施設循環バス運行事業など）（継続）

2, 596万7千円

【担当：企画部 企画財政課】

公共施設循環バス（ふれあいバス）については、車両の更新時期を迎えることから、住民ニーズを的確に把握し、運行路線等も含めた全体見直しを実施するとともに、住民にとって利用しやすい公共交通の充実を目指し、地域公共交通会議を開催し、本町における持続可能な交通体系を検討していきます。

また、路線バス、電鉄会社と連携し、より多くの住民が利用しやすい公共交通の充実に努めるとともに、引き続きノンステップバス導入補助を行います。

産地形成振興対策事業（拡充）

1, 086万1千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

地場産農産物の安定供給に必要な農家への営農・技術指導について、これまでも増してJA兵庫六甲・阪神農業改良普及センターなどとの連携を図る一方、農産物の周年出荷体制を確立させるため、パイプハウスの設置に対する支援や“そば”の特産ブランド化等に向けた取り組みを引き続き進めます。

また、道の駅いながわイベント広場に常設テントを設置し、休憩場所を増設することなど施設の充実に努めます。

中山間地域の農地保全施策（継続）

920万4千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

農地が急傾斜地など一定の生産条件不利地にある地域（柏原・西畑・槻並・原）に対して、引き続き中山間地域等直接支払制度により農地の保全と活用に努めます。

農地・水・環境保全向上対策事業（拡充）

153万円

【担当：地域振興部 産業観光課】

農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増大等、農業・農村が危機的状況にあることから、地域ぐるみ又は農業者ぐるみ等多数の人々により地域資源の適切な管理活動を行い、自然環境の保全、良好な景観形成等農地のもつ多面的機能の維持・発揮へつなげる事業を継続実施します。

また、主作物栽培前に緑肥等により地力増進に取り組む地域に対し、環境保全型農業直接支払補助金により、肥沃な農地の形成を支援します。

里山再生整備事業（新規）

956万2千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

生活様式の変化に併せて、利用が低下することで自然林に近い状態となっている里山の現状を理解し、人々が里山に関心を示すことで里山の維持及び再生する活動へと結び付けていく仕組みを構築するため、竹林伐採や椎茸原木の伐採に対して助成金制度を新設します。

また、里山を管理する上で発生する間伐材を将来的に町内で消費することを目指して、道の駅いなわなどに薪ストーブ、ペレットストーブをモデル的に設置し、設置の啓発を促進することにより環境対策を進めます。

里山再生として、山林資源の活用や景観の向上のほか、有害鳥獣による被害の増加に対応するため緩衝帯を設置します。



薪ストーブ

緊急雇用創出事業（継続）

2,917万2千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

経済の低迷による雇用不安の社会経済情勢を勘案し、町内での雇用の創出を図るため、国の補助事業を活用し、平成21年度から23年度（一部24年度まで延長可能）までの3年間で21事業（うち平成23年度は11事業）を計画し、雇用情勢の改善に努めます。

【不法投棄防止対策事業】

年々増加傾向にある不法投棄防止対策として、定期的な巡回パトロールや不法投棄物の撤去・分別・処分などを行い、良好な生活環境の保全を図ります。

【訪問介護未経験有資格者支援事業】

実務経験のない訪問介護有資格者を雇用し、経験豊富なヘルパーに随行し現場経験を付与することにより、雇用の機会の拡大及び介護現場における人材不足の解消を図ります。

【希少生物等生息調査事業】（環境保全事業と重複）

本町に残された自然豊かな環境の中で生息する希少生物等の生息調査を実施することにより、環境保全施策の取り組みの一つとして、希少生物等の保全を図ります。

【大野山観光資源整備事業】

本町の貴重な観光資源である大野アルプスランドにおいて、既存の資源を活用した新たな観光ルートとして奇岩・巨岩が立ち並ぶ岩めぐりコースの整備を行うとともに、不用木の伐採などによる観光名所としての景観形成を図ります。



岩めぐりコースより太鼓岩を望む

大野山管理運営事業（継続）

1, 108万8千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

大野アルプスランドについては、指定管理者（柏原生産森林組合）や天文台運営委員会と連携し、さらなる集客に努めます。本町の貴重な観光スポットとして、これまで以上に観光客に喜んでいただける施設となるよう、あじさいまつりや星まつり、観望会などのイベントも積極的に実施するとともに、天文台のプラネタリウムについて老朽化に伴う機器の更新を行います。

観光高揚事業（継続）

534万2千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

本町の歴史・文化・自然を内外に広く啓発するための施設、多田銀銅山悠久の館や歴史街道などを基点として活動している観光ボランティアガイドのさらなる充実を図るべく第4期生の募集を行うとともに、引き続き情報発信の拠点施設である道の駅いながわとの連携による観光情報の発信に努めます。

また、県や近隣市町との連携、さらには鉄道、バス事業者等との連携強化により、本町の貴重な自然、歴史を、四季を通じて満喫してもらえるハイキング等の実施や誘致にも力を入れ、観光誘客に努めます。

自然歩道管理事業（継続）

309万1千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

身近な自然や多田銀銅山跡などの歴史とふれあえる近畿自然歩道を安全に通行できるよう管理するとともに、万善・銀山・下阿古谷の公衆トイレを含めた適切な維持管理に努めます。

道路維持補修事業（継続）

1, 425万6千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

道路交通の円滑化と安全・安心の確保を目的として、道路施設の計画的な維持補修に努めます。

事業費：町道阿古谷民田線道路保全実施設計 425万6千円

町道万善村上線維持修繕工事 1,000万円

橋りょう維持補修事業（継続）

429万5千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

平成22年度に策定した橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、町が管理する橋りょうの計画的な維持補修に努めます。

事業費：橋りょう長寿命化実施設計 429万5千円

河川維持管理事業（新規）

336万6千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

町が管理する普通河川について、自然公物として計画的に保全することにより、安全・安心の確保に努めます。

事業費：普通河川（杉生地内）測量 336万6千円

特別指定区域制度の活用（拡充）

468万1千円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

市街化調整区域においては、建築制限により居住者が減少し活力が失われつつあることから、必要な開発行為が可能となる特別指定区域の指定を受けるために、大島小学校区をモデル地区として住民の総意による将来の土地利用計画を策定します。また、楊津小学校校区へ拡大するため、まちづくり協議会と協議していきます。

都市計画道路原広根線新設改良事業（新規）

2,020万円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

新名神高速道路供用を平成28年度に予定される中、町内交通体系を見直すとともに、都市計画決定済の原広根線について、延伸を行うために必要な測量等委託を実施し、整備促進を図ります。



原広根線

人びとと行政がともに歩むまち 猪名川

～行政運営～

行財政改革などによる効率的な行政運営と中長期的な視点の行政経営に取り組むとともに、行政情報の提供と情報公開を充実させ、住民とのパートナーシップをさらに高めるためのまちづくりに取り組みます。

地域の特性を活かした政策立案や住民とともに課題解決に取り組むため、町職員の意識改革を図り、政策形成能力や企画調整能力などの資質向上、住民ニーズに対応できる人材の育成に努めます。

固定資産評価替事業（継続）

400万2千円

【担当：総務部 税務課】

平成24年度の評価替えに向けての作業年度となるため、適正な評価に向けて事務を進めます。

コンビニ収納サービス（継続）

126万円

【担当：総務部 税務課】

町税等が納めやすい環境整備を図るため、1件30万円以下の町税及び保険料について、コンビニエンスストアにおける収納取扱を引き続き行います。

清流猪名川ふるさと応援寄附金記念品（新規）

5万円

【担当：企画部 企画財政課】

清流猪名川ふるさと応援寄附金の更なる啓発と本町への愛着を深めていただくため、本町への応援として「ふるさと納税」により10,000円以上寄附をしていただいた方へ、新たに本町の特産品（5,000円相当）を贈呈します。

地籍調査事業（継続）

2,542万3千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

正確な土地の測量を実施することにより、土地の正しい位置、形、地番及び地積を明らかにし、個人の土地取引から公的機関による事業の円滑な推進など総合的な土地政策を推進する基礎データを作成するために地籍調査を実施しています。平成23年度からは、2班体制により猪名川荘苑・槻並（南部）地区の地籍調査を実施し、早期完了を目指します。